

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	沖縄の健康長寿復活に向けた健康行動実践モデル実証事業
当院の研究責任者 (所属)	所属：グローバル教育支援機構保健管理部門 (保健管理センター) 職名：教授 氏名：崎間 敦
既存情報（健診データ） の提供を行う機関	恩納村役場 〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納 2451 番地 読谷村役場 〒904-0392 沖縄県中頭郡読谷村字座喜味 2901 番地 うるま市役所 〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町 1 丁目 1 番 1 号 沖縄市役所 〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町 26 番 1 号 北谷町役場 〒904-0192 沖縄県中頭郡北谷町字桑江 226 番地 宜野湾市役所 〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩 1 丁目 1 番 1 号 浦添市役所 〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶 1 丁目 1 番 1 号 西原町役場 〒903-0220 沖縄県中頭郡西原町与那城 140 番地の 1 南城市役所 〒901-1495 沖縄県南城市佐敷字新里 1870 番地 宮古島市役所 〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里 186 番地 石垣市役所 〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町 14 番地 協会けんぽ沖縄支部 〒900-8512 沖縄県那覇市旭町 114 番地 4 おきでん那覇ビル 8 階
本研究の目的	本調査研究の目的は 1) 地域健康づくりの人材育成とネットワーク（地域の絆、ユイマール）を強化することで、生活習慣病リスクの高い中高年世代の沖縄県民の肥満、食塩接種、高血圧罹患率等を低減すること、2) 沖縄県産野菜を中心とした食育・栄養指導を健康づくりのツールとして確立すること、3) 学校給食に沖縄野菜レシピを導入し、子供とその親への食育、4) 健康の社会的決定因子に着目し、これら因子と健康との関連性について社会疫学的アプローチを行うことであります。3)、4) については、関連研究の「社会経済的要因を背景とした伝統的沖縄食による 3 世代への介入研究（チャンプルースタディー）」で詳細に検討されます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

調査データ(該当期間)	2013 年 6 月 19 日～2018 年の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	研究方法 1. 地域づくりと人材育成 本調査研究では、参加自治体の住民を対象に健康づくりセミナー、講演会、学校給食を介した食育活動を開催し、健康づくりの実践と人材育成を行います。この取り組みが、地域の健康改善につながるかについて以下の方法を用いて解析を行います。 2. 学校給食に沖縄野菜を導入した介入 本調査研究では、同意いただいた皆さまのうち、ご父兄およびお子様を対象に介入研究を行います。地域別小学校単位により、介入Ⅰ期群と介入Ⅱ期群に分けて、学校給食に沖縄野菜を取り入れた伝統的沖縄食を提供し、お子さんのみならずそのご父兄の皆さまへ健康情報の発信と栄養調査を行います（この方法を食事情報介入と呼びます）。なお、介入Ⅱ期群は、 介入Ⅰ期群の介入中は通常食グループとし、1年後、Ⅰ期群と交代して、介入を受けます。 <利用する試料・情報> ・学校給食に沖縄野菜を導入した介入 ・既存の臨床情報（住民健診や職場検診の検査結果）の利用 ・アンケートやその他の検査および問診への回答 ・採血と採尿 <u>被験者背景</u> <u>病歴</u> <u>社会疫学調査*1</u> <u>栄養調査*2</u> <u>身長*3、体重*3、皮脂厚*4、腹囲*4</u> <u>血圧、脈拍数*5</u> <u>血液尿検査*5</u> <u>有害事象</u> <u>*1 社会疫学調査では、学歴、所得、婚姻状況、家族構成、居住状況、健康観、ADL、QOL、K6、社会参加、社会関係資本などの項目が調査される。</u> <u>*2 簡易型食事質問票（BDHQ）より栄養調査を行う。</u> <u>*3 身長、体重は調査期間に各1回計測する。</u> <u>*4 皮脂厚、腹囲の測定は任意とする。</u> <u>*5 同意のもと提供頂いた健診データを活用する。</u> <u>調査票の記載</u>

	食品・栄養素摂取量の測定方法（調査票による）：簡易型食事調査票（BDHQ）をベースライン時ならびに調査期間中に渡り記載する。生活習慣、社会疫学調査、居住地情報をベースライン時ならびに調査期間中に記載する。 <u>家庭血圧・体重測定</u> 家庭内血圧・体重測定を、調査期間中、測定記載する。 <u>採血・採尿検査（健診データ）</u> 介入および対照集団の希望者から、家庭血圧測定の測定を行う。調査期間は、対照期間入れて約2年間である。また、介入前、介入終了時に生活習慣食事調査票を配布し、介入による行動変容の持続性について検討を行う。 <u>生体指標の測定項目（開始前、介入第1期、介入第2期の合計3回）</u> 生体・栄養指標：Na、K、血糖、HbA1c、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、クレアチニン、尿酸、尿量、尿比重 身体計測値：身長、体重、腹囲、血圧、皮脂厚、さらに、歩数計を用いて介入期間中の歩数調査とカロリー消費を算出する。 <u>住民健診・職場健診の結果の提供</u> 同意の得られた対象者の健診結果の推移を追跡する（研究実施期間中）。 <u>有害事象</u> 研究参加期間中の有害事象の有無を調査する
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	・ 他機関とのデータの授受方法は、pdf の郵送（レターパック）とする。授受したデータの記録票にはファイル名、データ種類、送付日、送付者氏名、受取者氏名を記載し、個人情報管理者が厳重に管理する。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、本研究のみに限る。二次利用は行わない。
個人情報の取り扱い	ご提供いただいた試料等は、記載いただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報を削り新しく符号をつけます（連結可能匿名化と言います）。個人と符号を結び付ける対応表は個人情報管理責任者の責任の下厳重に保管されます。その後、研究先に移送保管し解析します。生活習慣や社会疫学データ、居住地データ、健診データ、血液 唾液等の生体指標データに関しては、結合させ、その上で個人特定ができない状態で使用します。提供いただいた試料等の解析を外部に委託する場合も、同様に匿名化を行うのでご安心ください。調査期間内は参加者への連絡が必要となる場合に対応するため、個人名、電話番号など

	の個人情報は、研究責任者の責任において管理します。これは、調査終了後、研究に必要な情報がすべて収集され、かつ、研究結果概略を参加者に通知し終わった時点で消去します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は沖縄県一括交付金、日本学術振興会科学研究費、共同研究費や助成金等で行われる。 研究の原資は、沖縄県「健康行動実践モデル実証事業」および「健康行動実践モデル展開促進事業」より琉球大学との共同研究契約に基づき提供される。なお、沖縄県は本試験の計画、実施、解析、発表など研究運営には一切関与しない。本研究に関わる者は利益相反マネジメントの規定に準じ、規定から逸脱することがないようにする。 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	所属：保健管理センター 職名：教授 担当者：崎間 敦 電話：098-895-8144
備考	